



# 薬師寺小だより

平成29年12月

下野市立  
薬師寺小学校長  
鈴木一恵

薬小っ子スタンダード  
当たり前のことを  
当たり前に行える子に



やさしく

くつ揃え  
家族のお手伝い



かしこく

家族との会話  
親子読書



たくましく

家族と一緒に  
正しい食習慣

## 強い気力・体力が養われた 持久走大会



12月6日の授業参観・懇談会、PTA役員会ではお世話になりました。過日行われました持久走大会でもご協力ありがとうございました。安全のためにPTA体育部の皆様をはじめ約50名の保護者様に御支援頂

きとても感激致しました。黄色のウィンドブレイカーに身を包み、冷たい風の吹く中を児童の安全のために立哨して下さった皆様に心から感謝申し上げます。また、寒い日であったにもかかわらず、沿道ではたくさんの方々にエールを送って頂き、子ども達への大きな励みとなりました。地域の皆様には試走から大会当日までの間、道路使用の御不便をお掛けしたにもかかわらず、温かく見守って頂きました。お陰様で参加者全員、持てる力を出し切って立派にゴールすることができました。校長としましてもゴールするお子様一人一人の元気な顔を確認することができとても安堵致しました。

苦しいことは避けて通りたいとだれもが思いますが、持久走という苦しい競技だからこそ養うことのできる気力・体力が育ったことと思います。他のことでは味わうことのできない達成感がこれからの成長の糧となってくれることを願っております。

残念ながら体調により本番に出場できなかったお子さんも数名おりましたが、約1か月間の練習の成果はどの子も同じです。一人一人自分のめあてに向かってよく頑張りました。薬小っ子、天晴れです。

次は縄跳び運動で心身を鍛えます。去年より少しでも記録が伸びたり、できる種目が増えたりするよう、職員一丸となって雰囲気盛り上げ、練習を見守って参ります。御家庭でも休日や冬休みを利用して練習に励めますようよろしくお願い致します。

## 持久走大会コースクリーン作戦!

持久走大会に向け、どの学年も1回目の持久走試走の際に、コースのクリーン作戦を行いました。ビニール袋やバケツに



いっぱいのごみを持ち帰り、想像していた以上のごみに驚いていました。地域を自分たちの手できれいにしようという心も育ち清々しい気持ちでコースを走ることができました。



## 人権週間

～自分も相手も大切に～

12月10日の世界人権デーにちなみ、本校でも「自分も相手も大切にできる優しい子どもを育てる」ことを願って12月11日からの1週間を「人権週間」とし、様々な行事を予定しました。

人権に関する標語作りやDVDの視聴、「あすへのびる」の読み聞かせ、さらに15日には人権擁護委員さんをお招きして人権集会を開催し、御講話や代表児童の人権に関する作文発表を行います。

その作文「言葉の力」(4年生)を紹介します。何気ない一言が相手の心にどのように響くのかを自分の体験を通してじっくりと考えた作文です。

「人権」とは、全ての人が人間らしく幸せに生きていく権利です。自分だけが幸せなのでは、みんなが幸せに生きていくことはできません。みんなが幸せに生きていくためにはどうしたらよいか、人権について御家庭でも話題となることを願っております。

## 「言葉の力」

4年

私は、最近、いじめが原因で自殺してしまったというニュースを見ました。お父さんお母さんといじめについてたくさん話したり、私なりに人はどうしてけんかになるのだろう、いじめが起きるのだろうと、小さなことから考えてみました。

毎日の学校生活の中で、友達と話しているとき、いつも忘れてしまうことがあります。それは言葉には二つの力があるのではないかと言うことです。

一つは、人を励ましたり、応援したりする、勇気づける言葉です。そしてもう一つは、何気なく傷つけてしまう言葉や乱暴な言葉です。

生活していく中でみんなが友達を励ましたり応援したりして、勇気づける言葉を大切にしていけたら、いじめやけんかはなくなるのではないのでしょうか。一人一人が相手の気持ちになって、友達を応援したり励ましたり、勇気づけたりできたら、いじめもけんかもきっとなくなる私は信じています。

私は運動会のリレーの選手を決めるとき、なれるかなという緊張と不安でいっぱいでした。その時、「頑張れ。」

と、クラスみんなが応援してくれました。私はみんなの応援を聞いて勇気が湧いてきました。リレーの選手にはなれなかったけれど、みんなの応援で最後まで頑張ることができました。だから、男子のリレー選手を決める時、私も精一杯応援しました。自分が勇気づけられたように、他のみんなも頑張ってもらいたかったからです。

私が勇気をもらったように、ちょっとした言葉が人の気持ちを良くも悪くも変えていきます。だから私は、この言葉の力で周りのみんなを笑顔にしていきたいです。いじめをなくすには、とても小さなことかもしれないけれど、一人一人が自分の言葉に気をつけていくことが大切だと思います。

尚、学校では人権週間を挟んで1日から20日まで教育相談を実施し、一人一人の心に寄り添って参ります。



人権週間に寄せて  
子ども達の心にそっと届けたい一冊

きつねの壮絶な死に涙



「きつねのおきやくさま」 あまん きみこ作

むかしむかし、あったとさ。  
はらぺこきつねが歩いてると、やせたひよこがやってきた。がぶりとやろうと思ったが、やせているので考えた。太らせてから食べよう。そうとも、よくある、よくあることさ。  
「やあ、ひよこ。」  
「やあ、きつねお兄ちゃん。」  
「お兄ちゃん？やめてくれよ。」  
きつねは、ぶると身震した。でも、ひよこは目をまるくしていった。「ねえ、お兄ちゃん。どこかに良いすみか、ないかなあ。困ってるんだ。」  
きつねは、心の中でにやりとわらった。  
「よしよし、おれのうちにきなよ。」  
すると、ひよこが言ったとさ。  
「きつねお兄ちゃんって、優しいねえ。」  
「優しい？やめてくれったら、そんなせりふ。」  
でも、きつねは、生まれて初めて「優しい」なんていわれたので、少しほうとなった。  
ひよこを連れて帰る途中、  
「おとつと、おちつけおちつけ。」  
切り株につまずいて、転びそうになったとさ。きつねは、ひよこに、それは優しく食べさせた。そして、ひよこが「優しいお兄ちゃん」と言うと、ほうとなった。ひよこは、まるまる太ってきたぜ。  
ある日、ひよこが、散歩に行きたいと言い出した。  
——はあん。逃げる気かな。きつねは、そうとついていった。  
ひよこが春の歌なんか歌いながら歩いてると、やせたあひるがやってきたとさ。  
「やあ、ひよこ。どこかに良いすみかはないかなあ。困っているんだ。」  
「あるわよ。きつねお兄ちゃんちよ。あたしと一緒に行きましょ。」  
「きつねだって。とうんでもない。がぶりとやられるよ。」  
と、あひるが言うと、ひよこは首をふった。  
「ううん。きつねお兄ちゃんは、神様みたいなんだよ。」  
それをかけて聞いたきつねは、うっとりした。そして、「親切なきつね」と言う言葉を、五回もつぶやいたとさ。さあ、そこで急いで家に帰ると、待っていた。きつねは、ひよことあひるに、それは親切だった。そして二人が「親切なお兄ちゃん」の話をしているのを聞くとほうとなった。あひるも、まるまる太ってきたぜ。  
ある日、ひよことあひるが、散歩に行きたいと言い出した。  
——はあん。逃げる気かな。きつねは、そうとついていった。  
ひよことあひるが夏の歌なんか歌いながら歩いてると、やせたうさぎがやってきたとさ。  
「やあ、ひよことあひる。どこかに良いすみかはないかなあ。困っているんだ。」  
「あるわよ。きつねお兄ちゃんちよ。あたしたちと一緒に行きましょ。」  
「きつねだって？とうんでもない。がぶりとやられるぜ。」  
「ううん。きつねお兄ちゃんは、神様みたいなんだよ。」  
それをかけて聞いたきつねは、うっとりして、気絶しそうになったとさ。そこで、きつねは、ひよことあひるとうさぎを、そうとも、神様みたいに育てた。そして、三人が「神様みたいなお兄ちゃん」の話をしていると、ほうとなった。うさぎも、まるまる太ってきたぜ。  
ある日、くろくも山のおおかみが下りてきたとさ。  
「こりゃ、うまそうなおいだねえ。ふんふん、ひよこに、あひるに、うさぎだな。」  
「いや、まだいるぞ。きつねがいるぞ。」  
言うなり、きつねは飛び出した。  
きつねの体に、勇気がりんりんと湧いた。おお、戦ったとも、戦ったとも。実に、実に、勇ましかったぜ。  
そして、おおかみは、とうとう逃げていったとさ。  
その晩、  
きつねは、恥ずかしそうに笑って死んだ。まるまる太った、ひよことあひるとうさぎは、虹の森に、小さいお墓を作った。  
そして、世界一優しい、親切な、神様みたいな、その上、勇敢なきつねのために、涙を流したとさ。  
とっぴんばらりのぷう。

きつねが恥ずかしそうに笑って死んでいく結末にじわっときてしましすね。笑いの裏にはどんな気持ちがあったのでしょうか。きっと「自分の仲間を守ることができた」喜びでいっぱいだったのではないのでしょうか。また、善行などしたことがなかったきつねにとって、守るために戦うことは、最高にくすぐったく、安心して笑ったのかも知れませんね。  
顔見知り位だった小動物同士がしっかりと信頼の強い絆によって結ばれ、お互いの存在感がかけがえのないものになっていきました。命すら狙われていた関係でもあるのに、ひよこの抱いた純粋な感謝の気持ちから芽生えた信頼がそれを上回って、信頼関係を築いていく様子にぐんぐん引きつけられました。  
人間関係を築いていく時、ひよこのような相手への純粋な気持ちをもつことが信頼関係につながっていく、このお話には、そんな教訓もあるような気がしています。

地域とのつながりで学習が充実

11・12月もたくさんの校外学習や出前授業で子ども達は多くの方々とふれあいながら学習を深めることができました。職員も休日を利用して、ライオンズクラブ様のご厚意による「児童の自己コントロールやコミュニケーション力育成」の研修を計画しています。  
11/17 3年ふくべ細工くかんびょう家族の会>



かんびょう栽培を行った3年生にとって、ふくべ細工の体験は格別な思いがあったようです。ステキな作品になりました。

11/22 5年防災館見学  
11/24 5年家庭科<ミシンボランティア>



5年生初挑戦のミシンは、ボランティアさんの丁寧なご指導でスムーズに進めることができました。とても楽しそうでした。

11/28 5年えごま絞り体験<下野薬師寺歴史館>



えごまの植付や刈り取りをお手伝いした5年生がえごま絞りにチャレンジ。絞ったての油に灯を灯した瞬間は感動的でした。

11/29 読み語りくらこんでの皆さん>



話し手と聞き手の心が一つになるステキな時間。毎月の読み聞かせは子ども達の心を豊かにしてくれています。

11/30 工作クラブ勾玉作り①<埋蔵文化センター>  
12/1 学校保健給食委員会  
<学校医様・薬剤師様・保護者希望者・児童・職員>



健康委員会の児童がアンケートをもとに姿勢についての問題点を発表。参加者全員で改善策を話し合いました。

- 12/6 授業参観後の児童預かり<更正保護女性会の皆様>
- 12/8 6年薬物乱用防止教育<佐藤博之薬剤師様>
- 5年エコプロダクツ（東京ビックサイト）
- 12/9 職員研修ライフスキル教育プログラム①  
<ライオンズクラブ主催>
- 12/13 読み語りくらこんでの皆さん>
- 12/14 3年栃木感染予防制御コンソーシアム< TRICK >  
工作クラブ勾玉作り②<埋蔵文化センター>
- 12/15 人権集会講話<人権擁護委員さん>
- 12/16 PTA廃品回収  
職員研修ライフスキル教育プログラム②
- 12/19 3年昔のくらし出前授業<県立博物館>
- 12/20 5・6年消費者金融講座<下野市安心安全課>
- 12/22 5年国会・JAL見学

毎日の登下校を見守って下さった皆様をはじめ、今年もたくさんの方々にお世話になりました。ありがとうございます。どうぞ良いお年をお迎えください。

